# 江戸川

北

行徳橋

新行徳橋

水管橋

## 行徳可動堰
（ローリングダム）
昭和32年、塩害防止と
水位確保のため建設された。
（建設当時は東洋一の
可動堰であった。）

## ・江戸川（江戸川放水路）
大洪水防止のため、明治44年から計画を立て、
「江戸川放水路」が大正9年に完成した。

江戸川河口の干潟はトビハゼ
分布の世界の北限といわれる

## 妙好寺
檜山騒動の大立物、南部藩士俗称相馬大作が
ここで宿敵津軽藩主を討つべく、旅絵師に姿
を変えて、時期を伺ったとされる。
山門は、市指定文化財

天然記念物
ヒヌマイトトンボ
の生息地

トイレ

交番

バス停
行徳橋南詰

8 養福院

河原

市川で一番大きい
クロマツ

妙好寺

八幡神社
妙典

西船橋駅

モッコク

水門
塩害防止と水位確保

江戸川放水路

閘門
パナマ運河のように
航路確保のため、水位を
調整して船を通している。

7正源寺

トイレ
ケヤキ

河原の船着場跡

新宿前公園

下新宿

稲荷神社

河原水門

市川浦安線（江戸川ドーム）

タブノキ

清寿寺

春日神社

1・徳願寺

宮本武蔵ゆかりの寺
武蔵の落款のあるだるま絵や、
円山応挙作といわれる幽霊画がある。

## ・旧江戸川
昔はこちらが江戸川であったが、
昭和40年から「江戸川放水路」を江戸川
と呼ぶようになり、こちらを旧江戸川を呼ぶようになった。

旧江戸川

清涼飲料水会社

神明（豊受）神社
本行徳の総鎮守。
祭礼の神輿はここ
から出発する。

寺町公園

トイレ

イチョウ

レンガの蔵

七福神が全て
祀ってあり、ここ
1ヶ所でお参りを

1徳願寺

5大徳寺

クロマツ

妙応寺

妙頂寺

4自性院

寺町通り

豊受神社
ここの神輿が
五ヶ町で一番
のもみ方をする。

行徳小学校

妙典駅

行徳街道沿いには、昔の名残のレンガ造りの蔵や
建物がいくつも残っている。
往時の繁栄を偲ばせるこれらの蔵は、米などの
食糧貯蔵に利用されていた。

常運寺

3 長松禅寺

タブノキ

本行徳
公民館

行徳1丁目

法泉寺
13

14法善寺

## 14・法善寺
慶長5年（1600年）宗玄和尚の開基である。
宗玄が塩田を造って、塩焼の製法を里人に教えた
ことから塩場（しょばでら）寺と呼ばれる。
「うたがふな潮の花も浦の春」と
松尾芭蕉が詠んだ俳句の句碑がある。

## ・成田街道への入口
行徳街道から成田街道への分岐点で、
「成田街道」の道しるべがあった。

市民
プール
消防署

トイレ

本行徳

妙覚寺

行徳街道

レンガ塀

円頓寺

15
浄閑寺

排水機場
（昔の入江）

八幡神社

銀杏

本久寺

豊明神社

稲荷神社

権現道（ごんげんみち）
2m余りの細い道。
徳川家康が鷹狩り
をした際、通ったと
言われている。

中台製作所
（神輿店）

## ・旧家　田中邸
田中邸は、福沢諭吉門下生で、元行徳町長
であった先々代・栄次郎さんが明治初年に
建てました。

浅子神輿跡

笹屋
うどん跡

17
教信寺

内匠堀

三町畑公園

おみこし道

関ヶ島

諏訪流16代目鷹匠宅

東京メトロ東西線

第七中学校
行徳公会堂

## ・常夜灯

常夜灯
（船着場跡）

成田山参詣が盛んになり、常夜灯のある
新河岸の船着場は賑わいを極めた。文化
9年（1812年）には、江戸日本橋
西河岸と蔵屋敷の講中が行路の安全を
祈願してこの常夜灯を新勝寺に奉納した。

渡辺崋山が「四州真景 図巻」
で行徳船場を描いている。

19
徳蔵寺

## ・おかね塚
昔、船頭の一人が「おかね」という女と
末を契り、年季の明けた「おかね」は約束
どおり船頭を待った。
しかし、船頭は来ず、ついに「おかね」は
病に伏して帰らぬ人となった。
哀れんだ村人が手厚く供養した。
それが「おかね塚」であると言い伝えられている。

後藤
神仏具店

伊勢宿

豊受神社

20清岸寺

行徳支所
公民館

押切公園

トイレ

おかね塚

レンガ塀

21
光林寺

押切

## ・笹屋うどん跡
陸路で来てもここに寄らない人はいなかったと
言われるほど繁盛した。
十返舎一九も立ち寄っている。
「笹屋」だった建物（江戸時代、安政元年
（1854年）建築）は現存しており、「笹屋」の看板は
歴史博物館に展示されている。

うどん

押切排水機場
（船着場跡）

イチョウ
稲荷神社

湊水神宮

児童
遊園

バス停
押切

歩道橋

公衆トイレ
さわやかハウス
行徳

バス停行徳駅

行徳駅

## ◎行徳を訪れた文人墨客
・十返舎一九　・松尾芭蕉　・渡辺崋山　・安藤広重
・大原幽学　・小林一茶　・永井荷風　・三島由紀夫　・山口薫など